

## 広報官が中学生にむけてキャリア教育講話を行いました



言葉を生業にしていた広報官が“伝える”のではなく、“伝わる”ことの意味を語りました。

8月31日、合志中学校で2年生を対象に、自身の将来像を具体的にイメージし、自己理解を深めることを目的とし、職場体験の事前学習として“キャリア教育”講話を行いました。

三宅<sup>み やけ の り ゆ き</sup>宣行広報官が、『市の情報発信を知ろう！～広報官のお仕事～』と題して、市役所の仕事内容や多様な広報の在り方などを伝えました。また、得意なことを活かし、アナウンサーや報道記者として勤め、夢を実現させた経験を語り、中学生はテレビで観ていた広報官の話に目を輝かせながら聴いていました。

最後に未来を担う子どもたちへ「より良い、住みやすい、元気な合志市を一緒につくっていきましょう」と熱いメッセージを送りました。



講話後、教室でタブレットを開き、配信されている合志市電子ライブラリーを閲覧しました。県在住者や県出身者の働く様子を掲載した新聞記事から、数多くの職業・生き方があることを学び、生徒同士で気づきや意見を交換していました。

### 合志市電子ライブラリーとは

家庭や地域での子どもたちの学びを支援するため、令和4年12月から市立小・中学校の児童・生徒(小4～中3)のタブレット端末で閲覧できるようになった“情報の図書館”です。熊本日日新聞の記事や写真を活かし、本市の歴史や文化をはじめ、ハンセン病や水俣病など熊本の社会問題についても学習できる項目を掲載しています。



すずき こうの すけ  
鈴木 昊之介 さん

電子ライブラリーは、仕事の内容が詳しく載っていたので、興味がわく内容でした。職場体験で活かせることがないかを電子ライブラリーで探したいと思いました。



なかやま り  
中山 瑠梨 さん

三宅さんの話を聞いて、毎日、向上心をもって仕事に取り組むことが大切だと学びました。3日間ある職場体験で、私も成長できるようにしたいです。